

遠隔地を旅行するときの注意事項 広大な大地の救命者 航空医官 スティーブ フライングドクター

「アウトバック（内陸部）への旅行者の多くが、その気候などにより簡単に起きうる事態に全く無防備なのは本当に驚いた」。これは、フライングドクターの医師が、アウトバックを旅する旅行者から受けた緊急救助要請の連絡の多さを受けて放った言葉です。これからオーストラリアの遠隔地を旅行する予定がある人のために、ここではいくつかの注意事項を挙げました。

出発前

万が一の時にフライングドクターに連絡できるように、2-wayHF（短波）無線機を必ず持ちましょう。無線機はフライングドクターの各基地などで販売、レンタルをしています。その他には、右記のものを用意するとよいでしょう。

- 詳細まで描かれている地図。それを使いしっかりとした旅行計画をたてる。
- タンクに入った水が漏れる場合があるので、十分な水を小さいタンク数個に分ける。
- 旅をする場所の気候に合わせた衣類。上着は必ず持つ。
- 救急箱。応急処置を習っておくと安心。
- 救助を呼ぶ時のための、懐中電灯や笛など。
- 適当な旅行保険への加入
- 消火器 ● 常備薬、健康記録
- コンパス ● ジャッキなどの車整備用器具



旅行中

どの地域に行くにしても、その前にその土地に詳しい人に、注意すべき点、道路状態などを聞いて従うようにしましょう。

● WA 区域内の基地の緊急連絡先

ダービー基地

コールサイン : VJB

無線周波数 : 日中: 5300 夜間: 2792

ポート・ヘッドランド基地

コールサイン : VKL

無線周波数 : 日中: 5300 (1次)、5360 (2次)
夜間: 2280

ミーカサラ基地

コールサイン : VKJ

無線周波数 : 日中: 5360 (1次)、5300 (2次)
夜間: 2280

カルグーリー基地

コールサイン : VJQ

無線周波数 : 日中: 5360 夜間: 2792

緊急電話番号 (全基地共通)

1800 625 800

(2007年5月現在)

道路

- 未舗装の道路では路面と車輪の静止摩擦が少なくなり、ブレーキが効きにくくなるので速度を落とす。
- 砂ぼこりで視界が悪くなる恐れがある。
- 曲がる時は、十分に速度を落としてスリップを避ける。
- 州、地域によって最高速度が違うなど道路法規が異なる場合があるので、各州、地域の道路法規に従う。
- 野生動物の横断に注意する。最も危険な時間は、夜明け、夕暮れ時と夜間。
- 大型で複数のトレーラーを牽引しているトラックは、場合によっては全長が50メートルに及ぶ。車間距離を十分に保ち、追い越しをする時は、最低でも前方1kmに對向車がないことを確認してから行う。



その他

- 森林を散策中に道に迷った場合は、落ち着いて自分の位置を地図で確認し、来た道を戻る。それでも分からない場合は、元の場所に戻って、高地に登る。
- 暑い日は脱水症状を避けるために、1人につき10リットル以上の水を用意するのが渴いていなくても、水分を摂るようにする。

助けを待つとき

- 運転中に立ち往生してしまった場合は、車から離れずに車を日陰として使う。暑さから身を守ることが長時間待つためには一番重要。
- 居場所を教えるために日中は生きた緑の葉を燃やし、夜は枯れた木を燃やす。また、付近を飛行機などが通った場合は懐中電灯を3回点滅させる。

※事故、病気になる状況は個人によって異なるので、あくまでも参考として下さい。緊急の場合は、まずフライングドクターに連絡をして、その後の指示に従ってください。

詳しい注意事項は www.flyingdoctor.net/travelling.htm をご参照ください。

WA 区域の5つの基地ではビデオによるフライングドクターの活動の紹介などをしており、ギフトショップもあります。また、飛行機の整備や最新の医療技術の導入のための寄付を募っています。詳しい情報は www.flyingdoctor.net まで。